

## 欧米言語ゼミナール (その4)

2 単位 3 年 (後期), 4 年 (後期)

山内 暁彦・准教授 / 人間文化学科

【授業目的】 欧米における古今の諷刺文学の中からいくつか代表的なものを取り上げ研究する。

【授業概要】 欧米の諷刺文学

【キーワード】 諷刺

【先行科目】 『英米文化研究Ⅱ (その1)』 (1.0), 『英米文化研究Ⅱ (その2)』 (1.0)

【履修上の注意】 受講生には、ゼミに参加する過程で、各自、関心のある作品を見出し、それを対象として更に研究を進めて行くことを望む。

【到達目標】 諷刺文学の持つ意味を自分なりに理解すること。

【授業計画】 様々な作品を講読の形で取り扱う。また、それらを題材に、諷刺の起源や原理、主題や技法についても検討する。

【成績評価】 出席状況、発表などの、ゼミに取り組む態度、レポート試験の得点などにより、総合的に成績評価を行なう。

【再試験】 行なう。

【教科書】 Arthur Pollard, Satire

【参考書】 参考書については、授業中に指示する。各種ハンドアウトを授業中に配布する。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218458>

【連絡先】

⇒ 山内 (3308, 088-656-7132, yamauchi@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 金曜日 12時~13時)

【備考】 この授業科目は8単位まで履修することができます。(その4)は4年次後期の履修です。